

附録

昭和二十年一月二十五日

二月二十日空襲ヨリ得タル教訓ノ兩項ニ對スル所見ノ要旨

奄美守備隊司令部

目次

第一 緒言

第二 所見

第三 結論

附録

- 一、徳土島ヨリ南方要點へノ距離
- 二、米軍飛行機航續距離沿革
- 三、戦備ノ度

## 第一 緒言

各隊より提出多ル「月二十日空襲より得タル教訓」中六守備隊戦力強化上参考トスベキモノ多シ

其ノ中ノ三項目ハ極メテ卒直ナル意見キシテ左ノ如シ

① 敵警報ト状況判断ニ就テ

一〇、一〇空襲時ノ教訓、如ク午前中ノ來攻機ハ偵察乃至小數機ノ攻撃ニシテ數時間、後第二次攻撃ヲ必至ト判断シ空襲警報態勢ヲ續行スルノ必要切ナルモノアリ

② 敵機種ニ依ル警報解除及防空態勢ニ就テ

敵機ノ種別即チ艦載「グラマン」機等ニ於テハ敵機動部隊接近シ行動半径ニ於テ再度攻撃ヲアルト必定ヲ豫想判断シ波状攻撃ヲ覺悟セザルベカラズ  
從テ空襲警報解除ハ一考ヲ要ス